

11号「2020年度冬期対策検証に基づく申し入れ」団体交渉③

中央1項

秋田総合車両センター南秋田センター構内の除雪がされていない箇所があったため、降積雪が見込まれる場合は除雪回数を増やす等の対策をすること。

- ・除雪は毎日、0：05～5：05で行っている。
- ・契約上、庁舎前や着発線への渡りの通路等メインのところを除雪している。各着発線までの除雪は行っていない。
- ・具体的に除雪が必要な箇所があれば契約を変えることはできる。

2項

羽越線ATS-P区間でATS切替標識に雪が付着し見づらくなるため対策を講じること。

- ・ルートウォッチング等の報告に基づいて対応していく。
- ・雪が付着しづらい材質等は検討したこともあるが難しい。

奥北1項

深浦駅構内の指定通路の除雪は連絡後にJARSで対応することになっているが、降積雪が予想される場合は、計画的に除雪を行うこと。

- ・深浦は雪の多い地域ではないため報告を受けてからの対応となる。
- ・急きよの降積雪に対応するとなれば、毎日体制を取るための契約をする必要があり難しい。
- ・除雪の実績は年に1、2回である。

津軽1項

津軽線では、1月に入り数日間終日運休が続き、お客さまにご迷惑をおかけしたため、原因を明らかにし対策を講じること。

- ・盛岡支社の判断だが、除雪が間に合っていなかった。
- ・機械除雪を終えて運転再開をしたが、その間に最初の除雪したところに積もったことで運休が続いた。
- ・盛岡支社で振り返りをして、計画運休を積極的に行うと聞いている。

2項

津軽線内は吹き溜まり発生箇所が多く、今冬期は多くの列車が起動不能になったため防風柵等の対策を講じること。特に、津軽宮田・後潟・中沢の吹き溜まりがひどいため盛岡支社と対策について協議すること。

- ・申し入れについて盛岡支社にも伝えたが、防風柵を延長する考えはない。
- ・今冬は青森～新中小国間は3日に1回、大平～三厩間は毎日除雪する計画だったため、除雪計画を見直すことを検討している。
- ・吹き溜まりの解消については引き続き盛岡支社と議論していく。

3項

津軽線の運行状況について、つがる運輸区当直への情報が伝わっていないことが多かったため盛岡支社と協議の上、早めの情報提供に努めること。

- ・当直が盛岡指令に直接連絡してはいけないと思っていたため、情報が伝わっていないことが分かった。
- ・盛岡指令に遠慮せずに確認するように指示した。

全組合員で共有し、現場の声を基に安全安定輸送を創り出そう！